

ラジオNIKKEI 月曜日16時～

『キラメキの発想』 資料

2023年12月18日放送分

放送では主に日経平均株価を大きく動かしそうな内部・外部要因について、日経225OPトレーダーの視点から、さまざまなファンダメンタル指標やテクニカル指標などを用いて分析していきます。なお、主宰しているオプション倶楽部の詳細については倶楽部サイト「optionclub.net」をご覧ください。「OP売坊戦略」で検索！



OP売坊



2023年の日経平均を振り返る (P.2)

日経225先物 (中心限月)



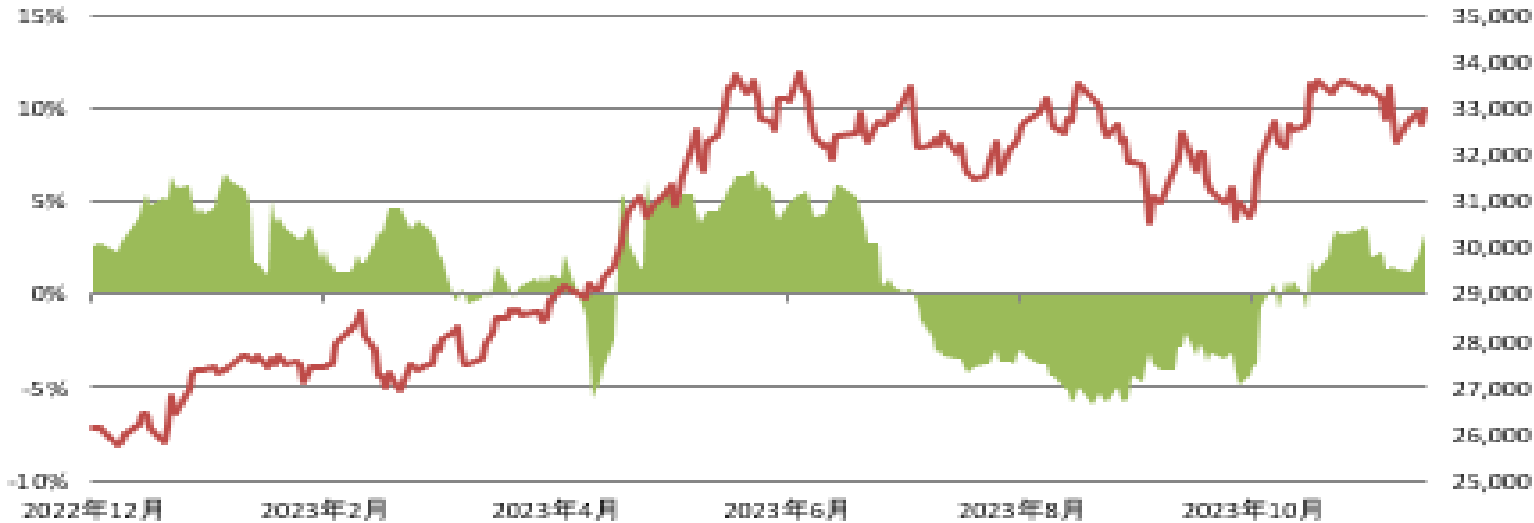
2023年の日経平均は3月から6月にかけて7000円近く値を上げました。ドル高円安・米国株高・JPXの低PBR（株価純資産倍率）改善要請がプラスに働いたうえに、予想EPS（1株当たり利益≒業績）の伸びも貢献したと考えています。6月以降伸び悩んでいるのは、EPSの前年比がマイナスになっていたからでしょう。業績が伸びないと、やはり株価の上昇は限定的です



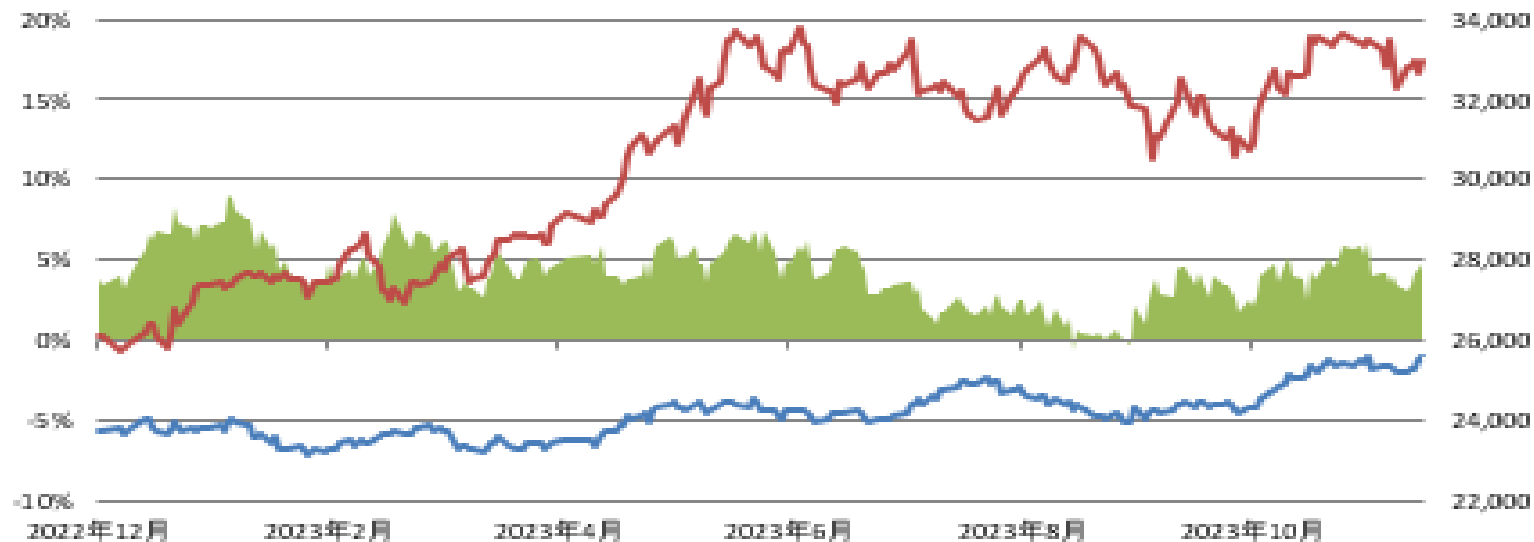


2023年の日経平均を振り返る (P.3)

日経平均 (右軸) の予想EPS伸び率 (前年比・左軸)



日経平均 (右軸) の予想BPS (右軸) とBPS伸び率 (前年比・左軸)



逆に、10月に30000円割れを二度も跳ね返されているのは、予想BPS（1株当たり純資産）の伸びが下支えしていたと考えています。12月になってからS&P500が年初来高値を更新する一方で、日本株がさえないのは、ドル円レートが一転、円高に切り返したのが大きな要因でしょう。これ以上、予想EPSの伸びが期待できないということだと考えています

出所) ブルームバーグより筆者作成 (2023年12月15日現在)





24年2月限SQ日までの注目イベント (P.4)

<米国>

01月05日：雇用統計 (12月分)

01月11日：消費者物価指数 (12月分)

01月12日：生産者物価指数 (12月分)

01月25日：GDP速報値

01月31日：FRB政策金利

01月19日—02月02日：米暫定予算失効日

02月02日：雇用統計 (1月分)

02月13日：消費者物価指数 (1月分)

02月16日：生産者物価指数 (1月分)

(03月20日：FRB政策金利)

<欧州・英国>

01月25日：欧州政策金利

02月01日：英国政策金利

<日本>

12月19日：日銀政策金利

12月29日：大納会

01月09日：消費者物価指数 (東京12月分)

01月23日：日銀政策金利

01月26日：消費者物価指数 (東京1月分)

※第二金曜日 (原則) は日経225OP期近限月の未決済建玉が清算されるSQ日のため、OPトレーダーにとって区切りとなる日です

1月22日にラジオ出演の予定です

正月休みについては為替相場が荒れる可能性を懸念しています。タイムディケイの逆風があるものの、OP買いの機会を見計らっていきたいと考えています。その場合、スプレッド戦略のほうが収益性が高いかもしれません



2023年12月

17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2024年1月

	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2024年2月

				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29		

- 日経225ミニオプションのSQ日
- 日経225ミニ先物・マイクロ先物、月次オプション、ミニオプションのSQ日
- メジャーSQ 日経225先物・ミニ先物・マイクロ先物、月次オプション、ミニオプションのSQ日
- 祝日取引実施日

注) 予定は予告なく変更される場合があります。
出所) ブルームバーグ、ロイターなどから筆者作成

※OP売坊公式X (旧Twitter) @OP49431790でもニュースについてつぶやいています。



2024年の日・米・欧・英政策金利決定会合（P.5）

日銀金融政策 決定会合	
1月22日	1月23日
3月18日	3月19日
4月25日	4月26日
6月13日	6月14日
7月30日	7月31日
9月19日	9月20日
10月30日	10月31日
12月18日	12月19日

FOMC	
1月30日	1月31日
3月19日	3月20日
4月30日	5月1日
6月11日	6月12日
7月30日	7月31日
9月17日	9月18日
11月6日	11月7日
12月17日	12月18日

ECB 理事会
1月25日
3月7日
4月11日
6月6日
7月18日
9月12日
10月17日
12月12日

英国金融 政策委員会
2月1日
3月21日
5月9日
6月20日
8月1日
9月19日
11月7日
12月19日

出所) 各国中央銀行より筆者作成

赤字は日銀会合がFOMC（米連邦公開市場委員会）の前に来る日です。青字は同日ですが、これも時差の関係で日銀が先になります





OP売坊の2023年びっくり10大予想を振り返る (P.6)

ラジオNIKKEI『賢者のマーケットインサイト』（2022年12月21日放送）より

- ① 日経平均の予想PBR（株価純資産倍率）、1倍割れ
- ② 米S&P500の予想EPS（1株当たり利益）、200ドル割れ
- ③ 米政策金利（FFレート）が5.5%に、米10年債利回りが4.5%に
- ④ 日米欧で景気後退、イタリア国債利回りが7%に
- ⑤ 日銀YCC（利回り曲線操作）の終焉
- ⑥ 米WTI原油価格が120ドルに、円建て金価格が10000円に
- ⑦ 岸田首相退陣
- ⑧ ソフトバンクグループの非公開化
- ⑨ 日本の金融機関（証券・地銀等）で統廃合が続く
- ⑩ ロシアのウクライナ侵攻は終結せず

■は当たり
でしょうか？





OP売坊の2024年びっくり10大予想 (P.7)

- ① 世界の株式市場で楽観モードが一転、日経平均が3万円割れ
- ② 米国の政策金利（FFレート）が4.75～5.00%で高止まり
- ③ 米国が景気後退（リセッション）に
- ④ 中国と米国で不動産バブルが崩壊（～2025年）
- ⑤ 日米で指導者交代、中国で体制が揺らぐ
- ⑥ WTI原油価格が100ドル超え、金の店頭価格が12000円超えも
- ⑦ インボイス制度、マイナカード、物流問題で日本経済が低迷
- ⑧ 日本の人口減少が加速
- ⑨ 個人が自分用GPTを作成する時代に
- ⑩ ウクライナ問題、パレスチナ問題は終結せず



番外編は「大阪万博
が大失敗」です





予想② ドットチャートと市場の思惑の乖離が顕著に (P.8)

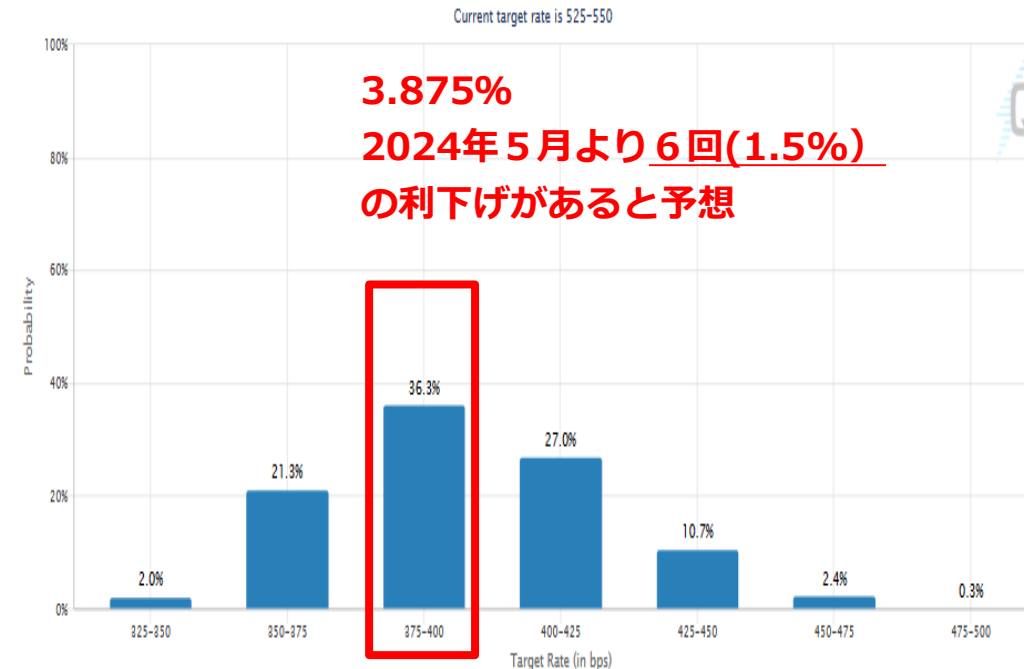
FOMCドットチャート中央値が示唆する
FRB（米連邦準備理事会）の政策金利予想

	2023 年末	2024 年末	2025 年末	2026 年末
23年12月 時点	5.375%	4.625%	3.625%	2.875%
23年9月 時点に 比べて		-0.750%	-1.000%	-0.750%
25bpずつ 変更なら		年3回	年4回	年3回

出所) FRBより筆者作成

市場参加者が予想する2024年末の政策金利

TARGET RATE PROBABILITIES FOR 18 12 2024 FED MEETING



出所) CNN (2023年12月15日現在)

ドットチャートはFOMCの
各委員が予測する政策金利
の水準を分布させた図です



FRBの予想と市場参加者の予想が、まだ大きく乖離しています。市場参加者の予想は楽観的すぎる
と考えています。金融緩和や株高はCPI（消費者物
価指数）の再上昇をもたらすリスクがあります



予想②12月の米CPIは急反発も (P.9)

米クリーブランド連銀の12月分CPI（消費者物価指数）前年同月比予想

INFLATION, YEAR-OVER-YEAR PERCENT CHANGE

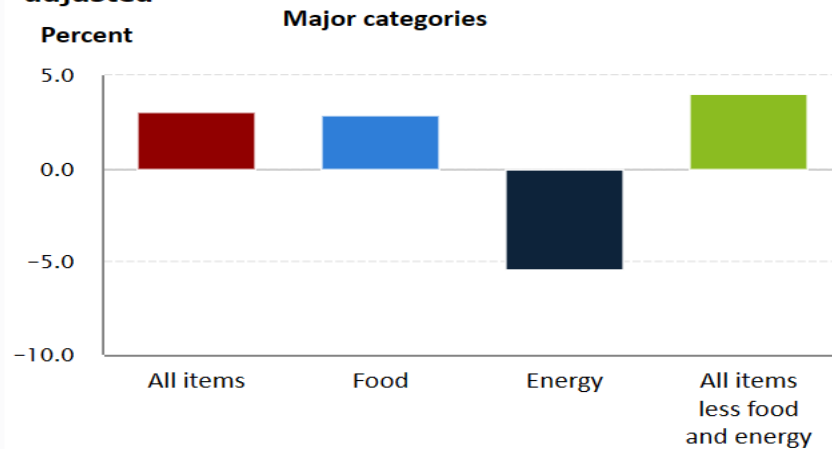
Month	CPI	Core CPI	PCE	Core PCE	Updated
December 2023	3.38	3.93	3.02	3.32	12/15
November 2023			2.92	3.43	12/15

Note: If the cell is blank, it implies that the actual data corresponding to the month for that inflation measure have already been released.

出所) クリーブランド連銀

23年11月分CPIの区分別前年比（季節調整なし）

12-month percentage change, Consumer Price Index, selected categories, November 2023, not seasonally adjusted



Source: U.S. Bureau of Labor Statistics.



WTI原油の月平均価格

年月	2020/01	2020/02	2020/03	2020/04	2020/05	2020/06	2020/07	2020/08	2020/09	2020/10	2020/11	2020/12
WTI	57.52	50.53	29.88	16.52	28.56	38.30	40.75	42.36	39.60	39.53	41.10	47.05
年月	2021/01	2021/02	2021/03	2021/04	2021/05	2021/06	2021/07	2021/08	2021/09	2021/10	2021/11	2021/12
WTI	52.10	59.06	62.35	61.71	65.18	71.38	72.46	67.73	71.56	81.32	79.18	71.53
年月	2022/01	2022/02	2022/03	2022/04	2022/05	2022/06	2022/07	2022/08	2022/09	2022/10	2022/11	2022/12
WTI	83.12	91.74	108.49	101.78	109.60	114.59	99.85	91.57	83.87	87.26	84.78	76.52
年月	2023/01	2023/02	2023/03	2023/04	2023/05	2023/06	2023/07	2023/08	2023/09	2023/10	2023/11	
WTI	78.11	76.84	73.37	79.44	71.59	70.23	76.39	81.40	89.58	85.57	77.43	

単位: USドル/バレル

※月間の平均価格

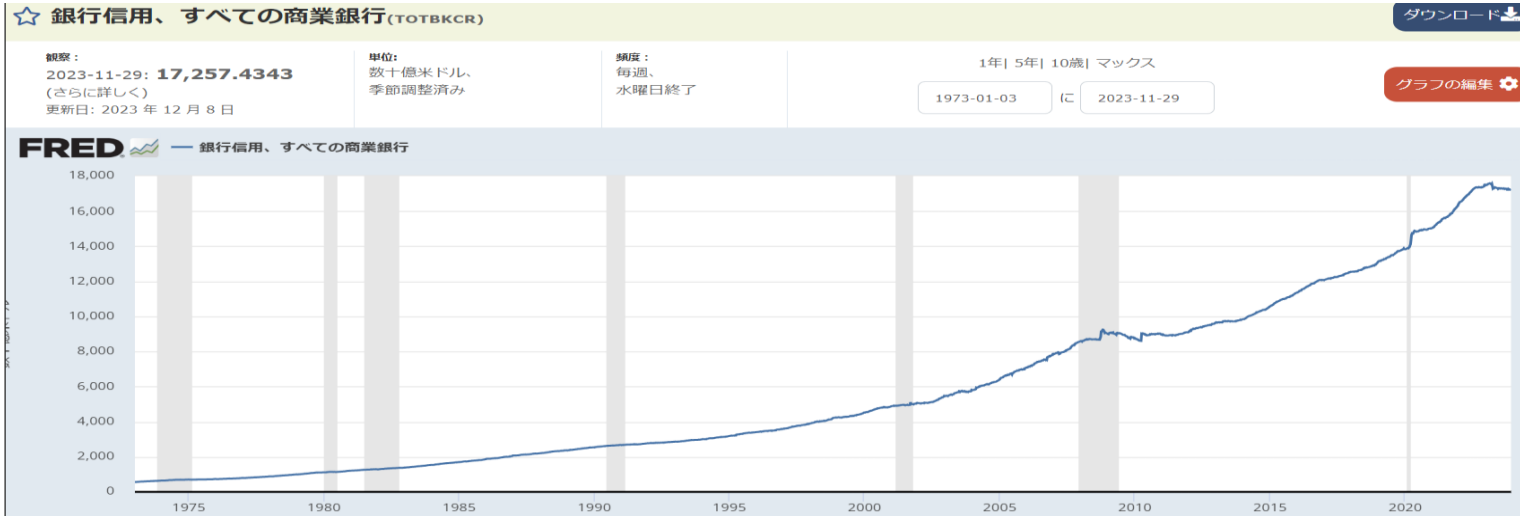
出所) 世界経済のネタ帳

https://ecodb.net/commodity/crude_wti.html



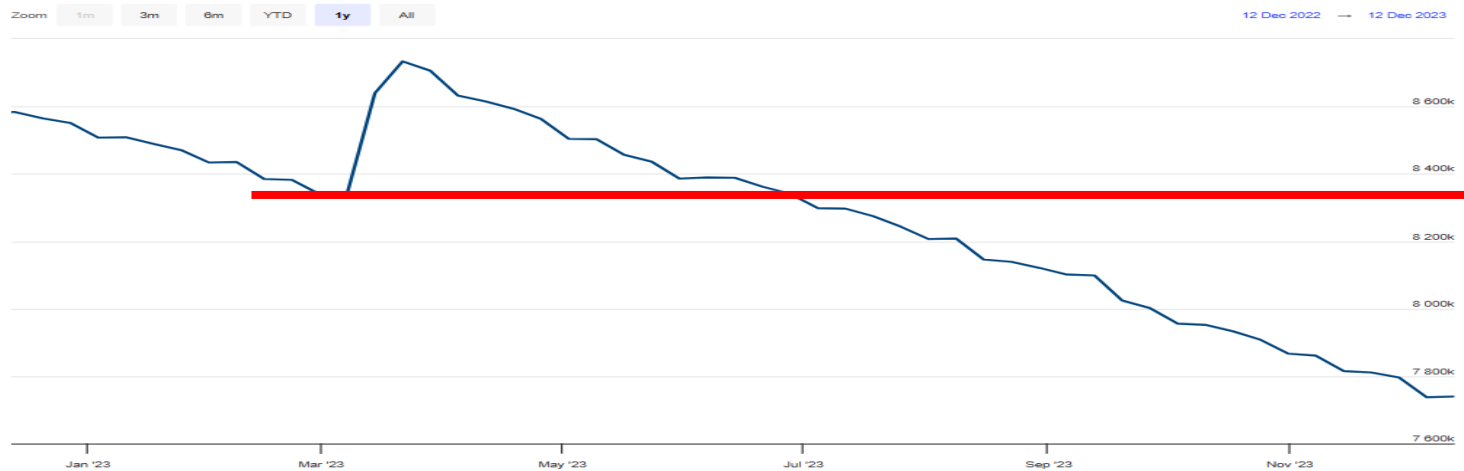
予想③米銀で信用減少は景気後退を示唆か？ (P.10)

米国商業銀行の信用残高



出所) セントルイス連銀 (2023年12月8日現在)

FRBバランスシート残高



出所) FRB (2023年12月12日現在)

信用残高とは簡単にいえば銀行の貸し出し残高です。信用残高が伸び悩んでいるのはFRBが市中からおカネを吸い上げているからだけでなく、金利上昇による銀行の財務悪化、そして延滞率が高まっていること、さらに資金需要の減少が要因として挙げられるでしょう。そして、企業が借り入れを減らしているということは簡単にいえば、経済が縮小しているということです





予想④ 財政破綻、そのとき中国14億人はどこへ行く (P.11)

緑矢印はウクライナの避難民、赤矢印は……



中国不動産指数



出所) TradingView (2023年12月15日現在)

中国の地方政府債務は1800兆円
(公式：700兆円、隠れ債務：1100兆円)

債務比率

天津：1089%、重慶：760%、北京：204%、上海：139%

出所) wind economic database (2022年末)

中国で地方政府の財政破綻が頻出すれば、国内の失業率が上昇し、職を求めて海外に流出する……どこか“難民化”する可能性もあります





OP売坊の無料メルマガ『グレイ・リノ通信』

売坊先生のYouTube動画を何倍にも楽しめる

補足Q&A記事やOPトレードに関する情報などを配信しています！



- 日米**“実質”**利回り差とドル円の相関が高いのは、なぜですか？
 - 裁定取引の**“手口”**から、どのようなことがみえてくるのですか？
 - 日本銀行に**“暗黒の水曜日”**が起こり得るのは、なぜですか？
 - 米国が陥っている**“政策金利のジレンマ”**とは、何ですか？
 - 個別株を安く買いたいなら**“PUT売り”**が有効なのは、なぜですか？
- ……など

お気軽にご登録ください！



登録はオプション倶楽部のポータルサイト
<https://www.optionclub.net/>
でメールアドレスを入力するだけ!!



オプション倶楽部

検索



YouTubeで『オプション倶楽部TV』を配信中！

水曜22時からパンローリングチャンネルで！！



3つの視点で日本株・米国株・為替などの市場を大きく揺るがしそうな材料を分析します



第一週
政治経済イベント分析



第四週※
異常値分析



第二週
グレイ・リノ分析

第五週はトレード・投資に役立つ
OPワンポイント解説



※祝日や暦などによってラジオ出演と異常値分析が入れ替わる場合があります。

第三週※はラジオNIKKEI月曜16時～

『キラメキの発想』に出演！

<https://www.radionikkei.jp/kirameki/>



ラジオ放送も情報提供の一環と位置づけており、ラジオ出演週の水曜配信は、お休みとさせていただきます。

専用ページ <https://www.panrolling.com/tv/opctv.html#/>

最後までご清聴、誠にありがとうございました。

OP売坊ブログ『実践オプション教室』

<https://www.jissennkop.blog.fc2.com>

OP売坊X（旧ツイッター）『@OP49431790』

<https://twitter.com/OP49431790>

Copyright © 2019-2023 OP売坊 / Pan Rolling Inc.

All rights reserved. This report is for authorized recipients only and not for public distribution.

免責事項

- オプション倶楽部TV（以下「本動画」）で使用した図表・数値などは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性・信頼性・完全性を保証するものではありません。
- 本動画に掲載された情報・図表・資料は、あくまで金融知識の向上と情報提供を目的としたものです。証券など金融商品の売り買いを提案・勧誘するためのものとして、また証券など金融商品について助言・推奨するものとして、利用・解釈しないでください。
- 本動画は一般向けに編集されています。特定の投資目的・特定の投資環境・特定の投資家を一切考慮していません。事前に専門家の適切な助言を受けるべきですし、最終的な投資判断は、個々人が個々の状況を考慮して、自らの責任で下すようにしてください。
- 本動画に基づく行為の結果、発生した障害・損失などについて講師およびパンローリング社は一切の責任を負いません。
- 本動画に記載されたURLなどは予告なく変更される場合があります。
- 本動画に記載されている会社名・製品名は、それぞれ各社の商標および登録商標です。